

2023年度活動報告

1. 社員数と出資実績(2024年3月末)
社員数107名 拠出基金43, 012, 500円(配当金の再投資298000円を含む)
Oikocredit 株”Participation” 2,220 (USD 444.006) , 配当金 307,600。
2. 前年度から引き続き急激な円安が続く中で1年以上の送金見送りをしていたが、その間投資を積極的に呼びかけていなかったこともあいまって新規拠出金は低迷してきた。しかし、かつての円高に戻る可能性は見込めない中で、継続的な投資という観点から、配当金を活用した投資を検討し、150円台から140円台前半に下がったタイミングで送金を行った。
3. 4月に2023年度の投資状況報告を各出資者に発送した。7月16日にはオイコクレジット・ジャパンの総会を行い、財務状況や1年の活動を振り返るとともに今後の活動方針を確認した。
4. ハチドリ電力からの寄付は49,663円(手取り)となり、配当金が少ない中で貴重な収入源となった。(支援者は2024年6月には1600人を超えている)
5. 6月8日Oikocredit組合員会議、9日、Oikocredit Internationalの年次総会にオンラインで参加し、転換期のOikocreditの組織的課題や経営に関する実情を把握した。また、それを総会で報告した。
6. 広報活動
 - ・Oikocreditの最近のコミュニティ重視やWASHプロジェクトとの連携に関する理解を深めるため、Oikocreditから出された『2022-2026オイコクレジット戦略リーフレット』を全訳し、オイコクレジット・ジャパンのウェブサイトに掲載した。また、そのURLを全社員に届けた。
 - ・ニュースレターは社員向けとして3回出している。
 - Facebookでは、9回発信を行った。リーチやエンゲージメントは伸び悩んでおり、広報手段の見直しが必要と思われる。
 - ・一般社団法人になったこと、およびOikocreditのオープン組合や機構改革に合わせてリーフレットやホームページの更新を行なった。リーフレットについてはチームで議論を重ねて行った。後者については、まだ手直しすべきところが残されている。
7. オンラインや対面で直接働きかける活動
 - 、12月9日に東京八重洲APにてマイクロファイナンス、カフェを対面・オンラインで開催。SDGsにマイクロファイナンスがどのようにかかわるのかを基本的なところから解説し、またオイコクレジットの投資の役割も述べた。貧困削減の先にどのような社会を展望するのか、といった重要案開発課題の議論もあり、対面セミナーの意義を見出すことにもなった。
 - 、大阪梅田でのグローバル・フェスタ2024に5年ぶりに出展した。展示やチラシで多くの人々に説明でき、関心を持ってもらえた。マイクロファイナンスを知らない若者も多く、むしろ「社会的投資」の方が入りやすい様子であった。
 - ・マイクロファイナンスやSDGs、社会的投資に関連する形でオイコクレジットの存在を知ってもらう講義を二つの大学で行った。